

山形県立博物館 友の会会報

第3号(通巻11号) 2011年2月28日発行
山形県立博物館友の会
発行責任者 中川 重
事務局 〒990-0826 山形市霞城町1-8
山形県立博物館内
Tel 023-645-1111 Fax 023-645-1112

共同企画展

「私の宝物—わたしが大事にしてきた“たから”—」



平成22年(2010)12月18日から開催した、第2回共同企画展「私の宝物」は、多くの皆さんの協力のもと、平成23年(2011)2月13日に無事最終日を迎えました。

展示会を見学しただけでなく、展示の準備や片付けに参加して下さった出展者の皆さん、期間中のミニ解説会や講演会に足を運んで下さった会員の皆さんも多いことと思います。どのような感想をお持ちでしょうか。

博物館はいつでもだれでも学ぶことのできる、生涯学習の場です。しかし、「博物館＝勉強するところで難しい展示品が多いところ」というような、マイナスの先入観を持っている人が大勢いることも事実です。

一般市民である友の会会員の“たから”を中心にした展示は、いつもの博物館が主体となる展示会よりも身近なものに感じるのではないのでしょうか。「博物館で、頑張って勉強しなくてもいいんだ、難しいところではないんだ」と、少しでも感じてもらえたのなら、そしてまた気軽に訪れてもらえるようになれば、大変素敵なおことです。(博物館の「敷居」は本当はいつだって高くないのですが。)

私たちが見学するときには展示会の準備は終えてあり、博物館からの情報を受信するだけです。博物館と共同で展示会を開催するという事は、準備段階から参加するという事ですので、発信する立場になります。このような体験は友の会会員でなければ味わうことができません。今回資料を出展できなかったり、準備に参加できなかった会員の方でも、私たちの会が行っている、この共同企画展を無事に開催できたよろこびを共に感じてくださればありがたく思います。

写真 左：展示会場の様子 右：平成23年1月8日ミニ解説会

教育資料館 30 年のあゆみ

山形県立博物館教育資料館 青木章二

1 開館の経緯

「山形県立博物館教育資料館」は、昭和 55 年(1980)10 月、県立博物館の分館として開館して以来、30 年の節目を迎えた。建物は昭和 48 年(1973)に国指定重要文化財となった「旧山形師範学校本館」である。山形師範学校は明治 11 年(1878)の開校。現在に残る師範学校の建物は、明治 34 年(1901)に移転新築されたものである。戦後の学校制度改革により、山形師範学校は昭和 24 年(1949)に山形大学教育学部に移行。学部の移転後、昭和 38 年(1963)からは県立山形北高等学校の校舎としてつかわれた。その後、校舎改築に伴い正面部分以外を解体。あわせて遺存部分の半解体修理が行なわれた。重文指定に伴う建物の保存とともに施設の活用が図られ、この校舎が山形県下における教員養成の中心を担ってきたことから、本県教育の歩みを語る資料館として利用することになった。

2 学校建築の貴重な遺構

建物は明治期を代表する学校建築のひとつである。正面中央に玄関ポーチ(車寄せ)を付け、中央の屋根は楕形、両端には切妻(きりづま)形の飾り破風(はふ)をみせる。火災に強くするために外壁は下地に堅瓦(たてがわら)を張ったモルタル塗り。内部の天井や床を斜めの板張りにしているのも他にはない特徴である。見た目には美しいだけでなく、筋交いの効果を持ち躯体構造の強化にも役立っている。明治時代の木造建築としては、耐火耐震性能にすぐれた建物であり、建築技術史的観点からも貴重な遺構とされている。

3 施設の特徴

教育資料館は山形県の教育の歴史に関する資料を収集・展示することを目的として設立された。全国には、教育博物館(資料館)がいくつかあるが、その多くは大学附属または市町村立であり、県立の教育専門博物館としては全国でも唯一といえる施設である。

かつての教室を利用した展示場は 7 室。展示は、江戸時代の寺子屋・藩校から現代の教育まで時代順に構成されている。たとえば、寺子屋の展示ではジオラマをつかって立体的に当時の教場風景を再現。豊富に展示されている教科書の変遷をみるだけでも、教育の歴史や時代背景が概観できる。

来館者は県内だけではなく全国から訪れる。近年は、藤沢文学ファンにも注目されるようになった。また、日本の教育システムを歴史的かつ体系的に理解できる場として、見学に訪れる海外の視察団などからも好評を得ている。

4 これまでのあゆみ

昭和 48 年(1973)	6 月	「旧山形師範学校本館」が国指定重要文化財となる。
昭和 53 年(1978)	10 月	遺存部分の半解体修理(～1980)。
昭和 55 年(1980)	1 月	正門及び門衛所が国の重要文化財に追加指定される。
	6 月	教育資料の収集・研究および展示作業開始。
	10 月	「山形県立博物館教育資料館」として開館。
昭和 56 年(1981)	4 月	3 ヶ年の教育資料館環境整備事業開始。
	10 月	「英語教科書展」開催。

- 昭和 58 年(1982) 5 月 「山形の和算 - 算書と算碑と算額 - 」を開催。
- 昭和 60 年(1985) 10 月 「新制中学発足回顧展」を開催。
- 昭和 63 年(1988) 10 月 「音楽教育のあゆみ」展を開催。
- 平成 2 年(1990) 9 月 開館 10 周年記念企画展「教科書ってなんだろう」を開催。
- 平成 6 年(1994) 常設展示パネル更新 (～1996)
- 4 月 企画展「生活画の起源 - 佐藤文利の想画教育 - 」を開催。
- 平成 7 年(1995) 「藤沢周平コーナー」を設置。
- 平成 8 年(1996) 4 月 企画展「やまがたの寺子屋 - 変動の時代を生きる - 」を開催。
- 平成 9 年(1997) 7 月 特別展「文集に見るやまがたの子どもたち」を開催。
- 平成 10 年(1998) 7 月 特別展「藩校」を開催。
- 平成 11 年(1999) 7 月 企画展「学校と教科書の歴史」を開催。
- 平成 13 年(2001) 6 月 企画展「じいちゃん、ばあちゃんの子供時代」を開催。
- 11 月 寺子屋ジオラマをユネスコ「第 1 回世界 TERAKOYA 会議」(国立京都国際会館)に出展。
- 平成 15 年(2003) 4 月 企画展「藤沢周平とやまがた」を開催。
- 平成 17 年(2005) 7 月 特別展「戦争と子どもたち - 学校・くらし - 」を開催。
- 平成 20 年(2008) 5 月 企画展「少年雑誌にみる戦中・戦後 - 『週刊少国民』 から『こども朝日』へ - 」を開催。
- 平成 21 年(2009) 2 月 経済産業省より近代化産業遺産に認定される。
- 平成 22 年(2010) 7 月 教育資料館開館 30 周年記念展「三島通庸と洋風学舎 - 近代やまがたの学校 - 」を開催。



写真 春の旧山形師範学校本館 (教育資料館)

企画展案内 「うつくしい鉱物と岩石」

山形県立博物館 高橋麻美

本年度最後の企画展「うつくしい鉱物と岩石」が、2月26日（土）～5月8日（日）にかけて開かれます。本展の展示内容は「うつくしい鉱物」「生活を支える鉱物」「めずらしい石ころ」の3部構成です。収蔵庫のなかに眠っていた誕生石などの色鮮やかな鉱物、私たちの生活用品に不可欠な鉱物、山形県内外のおもしろい形をした石ころなどを展示します。手で石に触れられるコーナーもありますので、感触の違いを確かめてみてはいかがでしょうか。

ここで、本展展示品の中から真っ黒でコロコロとした特徴をもつマンガンノジュール（マンガン団塊）をご紹介します。マンガンノジュールは深海底（4000～6000m）で海水中のコロイド状の鉄・マンガンが酸化物として沈殿し、岩石や化石を核として沈着成長したもの、深海底の表層堆積物に含まれる酸化物粒子中のマンガンが優先的に溶解再沈殿したものなど、成因については諸説さまざまあります。真っ黒なじゃがいものようにも見えますが、この色は主成分であるマグネシウムと鉄が原因です。その他にもニッケルやコバルトなどを含んでおり、今後有益な海底鉱物資源として期待されています。



写真 マンガンノジュール（山形県立博物館蔵）

事務局より

県立博物館の展示の中で、1位・2位を争う人気者はなんといっても「ヤマガタダイカイギウ」の骨格模型です。実はこのヤマガタダイカイギウと調査時のエピソードをモチーフとした漫画があることをご存知ですか。人気釣り漫画「釣りキチ三平<平成版>御座の石」がその作品です。調査を担当した当時の博物館学芸員もキャラクターとして登場していますし、エピソードはかなりくわしく描かれています。作品と博物館の展示を見比べてみるのも楽しみ方の一つではないかと思えます。

現在開催中の企画展は地学分野の「うつくしい鉱物と岩石」ですので、併せて地学三昧の見学はいかがでしょうか。「難しそうだから、地学分野の展示は見たことがないのよ」という方こそ、是非ご覧下さい。鉱物や岩石をじっくり見ると、そのかたちや色彩の美しさに魅了されることでしょう。さらに、地球内部の様子や地球のなりたちにも思いをはせることができますよ。 <ka>